



# どっこいしょ

Dokkoisyo

2016.10.21. (金) 第15号

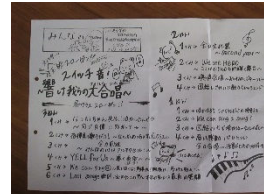


## そこには「調和」というものが 生まれてくる



9月末から取組を進めてきた今年度の文化祭がいよいよ始まります。体育大会が終わり、校舎の中では授業中や休み時間に聞こえてくる歌声、放課後の部活中に何気なく口ずさんでいる歌声を耳にすることがありました。社会の中では悲惨な事件や事故が繰り返し報道されていますが、江井島中学校の現状としては、安全で安心な学校の姿があるのだと感じています。

「スイッチ音! ~響け私たちの大合唱(フォルテシモ)~」というスローガンを考えてくれた3年4組の寺島君、またシンボルマークを書いてくれた2年4組の石田さん、素晴らしいと思います。言葉も絵もとってもレベルが高く、この取組にぴったりと合っていると感じました。



また、生徒会執行部が発行する「みんなの飛行船」59号では、各クラスのスローガンが紹介されていました。「なつかちゃん先生、なかしたんで」「魂声合唱」「届け感動、心ひとつに 怪獣たちのメロディーを」などなど、各学年とも自分たちのクラス、先生、友達のことを十分考えた内容になっていたと思います。

生徒会通信としての紙面の作り方や表現の仕方も素晴らしいと思います。これまでの各教科での学習の積み重ねがしっかりと生かされています。スローガン、シンボルマーク、広報誌の作成にかかる文章表現やイラストでの表現などは、文化的な活動の一つと考えます。将来の進路や職業にもつながっていくかも知れません。

3年生はこの文化祭が終わるといよいよ進路選択に向けてより具体的な動きが目の前に迫ってきます。3年後、5年後、10年後、20年後の自分の姿を想像してどのように社会の中で生きていくのかを考えてほしいと思います。

さて、今日紹介する文字は「調べる」という漢字です。言(ことば)と音を表す周(シュウ→チョウ)という部分から成り、なかなかおりさせるといふ意味があります。ここから仲の悪い人たちを説得して仲直りさせる意味を表します。

この文字を使った熟語には社会科で学習する「調印」や「調停」、ほかにも音楽ではピアノの「調律」、理科では「調合」、家庭科では「調理」など、対立するものや反対のもの、様々なものを合わせて「ととのえる」という意味があります。

みなさんのクラスの現状はどうでしょうか、これまでの学校生活を振り返ってみてみると、困ったことはありませんか?

**君たちがこれから表現する「歌声」にはクラスの一人一人の個性が合わせられ、一つのメロディーの中に集約されていくことと思います。そこには「調和」というものが生まれてくることと信じています。**

スローガンに使われた「響く」という漢字には大きな音という意味があります。大きく開けた口からあふれ出す大きな音に「心をひとつにした歌声」が生まれることを期待しています。

この文化祭をきっかけとして、クラスを学年を学校を集団として高めていくきっかけとしよう。

# 調

チョウ・しらべる・ととのえる  
言(ことば)と音を表す周  
(シュウ→チョウ: なかなか  
おりさせる意)とからなり、仲  
の悪い人たちを説得して仲直  
りさせる意味を表す。ひいて、  
ととのえるの意味にも用いる。

## メリディアン・マーチン グフェスタ

10/23(日)10:30~

明石公園

●19日の新聞にも掲載されていましたが、本校吹奏楽部が出演します。市内外の中学校や高校、陸上自衛隊の音楽隊も登場。



## お茶席のお知らせ

10/26(水)15:15~

江井島コミセン1階和室

●茶道部が日頃の稽古の成果を披露します。

